



山口 晋平

県政報告

第25号

2025年 春

善と至善

山口 晋平



重要伝統的建造物群保存地区選定5周年記念式典にて

令和7年度がスタートしました。兵庫県予算総額は4兆5150億円、このうち一般会計は2兆3582億円のぼる当初予算案など重要

案件を先月末の本会議で可決しました。

その内容は全ての世代お一人おひとりが調和をもって活躍できる兵庫づくり「誰も取り残さない安全安心な兵庫」「若者が輝く兵庫」「活力がわきあがる兵庫」「県政運営基盤の構築」の4本柱により構成されています（概要は裏面を参照して下さい）。

元県民局長作成の文書問題から始まった県政の混乱から1年が経ちました。作成文書に書かれた7つの項目について真偽を調査することと公益通報者保護に関連することを調査することを目的に第三者委員会を設置し、議会としても調査特別委員会（百条委員会）を設置、ご存じの通り先月報告書が提出されたところです。

3年半前に、総務省からいわゆる外様として知事に就任され、改革を押し進めてこられました。その過程の合意形成をうまく取れずこのような状態に陥りま

した。齋藤知事は先日の定例会最終日に「貴重なご指摘を頂き大変重く受け止めており、組織的・制度的な側面と、個人の立ち振る舞いの双方で、深く反省することが必要と考えている」と発言されました。またSNSによる誹謗中傷についても「特定の個人や自分の考えの違う人たちのことを貶め、傷つける行為は誰であっても決して許されるものではなく、直ちに止めるべきです。」と発言されました。

県議会としても、齋藤知事の改革精神や政策を、議論を通じてより良いものに昇華させ、県民生活の福祉向上や県政発展に、謙虚な姿勢で取り組んでいきたいと思っています。

私は今回の混乱は、初動対応に問題があったと思っています。と同時に組織の長としてのあるべき姿を考える機会でした。タイトルにもしました善と至善ですが、「善」の基準は自分や家族・会社・国にとって都合が良いかどうか、そうでないものは悪という

絶対判断が「至善」です。論語に「義を見



林田川河川改修事業完成式典にて

て為さざるは勇なきなり」とあります。正しい道を弁えて実行することが大切で、実行するには勇気がなければなりません。その気持ちで正常化、そして安全安心で活力ある兵庫県になるよう臨みます。

今年は阪神淡路大震災から30年を迎えます。震災を風化させず、「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」「繋ぐ」をテーマに各地での防災訓練をはじめ、一人ひとりが地域でその備えをすることが大切です。絆を紡ぎ、怒（思いやり）の精神で、良い地域をつくって参りましょう。

山口 晋平 「県政報告会」のご案内

令和7年
日時 **4月27日（日）**
14:00～

場所 **龍野経済交流センター**
たつの市龍野町富永702-1



お忙しいとは存じますが、ぜひご参加ください。

山口 晋平事務所

〒679-4109 たつの市神岡町東鷺崎 550-201
TEL 0791-65-1919 FAX 0791-60-3677
E-mail info@yamaguchi-hyogo.jp

山口 晋平
公式ホームページ



LINE
山口 晋平公式アカウント



ご意見は
こちらから



プロフィール

- ◆昭和52年11月10日生
- ◆たつの市龍野町島田生まれ
- ◆龍野市立小宅小学校
- ◆龍野市立龍野東中学校
- ◆兵庫県立龍野高等学校（48回生）
- ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
- ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める
- ◆趣味：読書、ゴルフ 血液型：B型
- ◆好きな言葉：一期一会
- ◆平成26年4月 兵庫県議会 たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選
- ◆現在4期目

令和7年度
県当初予算

安全安心を実感し、誰もが輝く兵庫へ

県議会自由民主党議員団として、「挑戦と包摂が織りなす兵庫五国の実現」を目指して、各種団体からいただいた要望や、議員団のメンバーそれぞれの地元課題、意見を政策化し、知事をはじめとした県当局に対して事業化、予算への反映を求めてきました。2月定例県議会で可決された令和7年度当初予算の重点施策として数多く予算化されました。その主な内容を紹介いたします。

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

1 防災・危機管理対策の充実・強化

- 災害用備蓄物資等管理・支援体制充実強化事業
- 能登半島地震を踏まえた避難所等生活環境改善事業
- ひょうご住まいの耐震化促進事業
- 兵庫県感染症対策センター設置事業

2 誰もが安心して暮らせる社会の構築

- 進化する犯罪への対応
- 自動録音装置普及事業（特殊詐欺対策）
- 再犯防止・再生支援に向けた出所者等の孤立防止・居場所づくり事業
- SNS 誹謗中傷等の防止対策強化
- ひょうご不登校対策プロジェクト

- 県内スポーツ施設のユニバーサル対応研修会の実施
- 社会基盤の充実・強化
- 災害に強い県土づくりの推進
- 安全安心な日常の維持管理の強化



震災30年 追悼式典で安全安心な社会への決意を述べる浜田議長

II 若者が輝く兵庫

1 「学びやすい兵庫」の実現

- 私立高等学校等生徒授業料軽減補助
- 奨学金返済支援制度
- 県立高校ふるさと共創プロジェクト
- 自然学校応援事業
- 教育投資の強化



若者の社会貢献活動を応援

2 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

- 不妊治療先進医療費・通院交通費助成
- 保育所等における食の安全・安心推進事業
- 高校生の保育の仕事やりがい魅力体験事業
- 保育所等における要支援児童等対策推進事業
- 県内大学と地元中小企業による小中学生向け授業

III 活力がわきあがる兵庫

1 2025 大阪・関西万博の開催

- ひょうごフィールドパビリオン
- SDGs 体験型 地域プログラム磨き上げ事業、ひょうご楽市楽座の開催

2 スポーツ・芸術文化の振興

- HYOGO スポーツコミッション（仮称）設立準備

3 次世代産業の創出

4 産業競争力の強化

5 地域活力の創出

- 第三期地域創生戦略の推進

6 持続可能な農林水産業の実現

- ひょうご農村 RMO 推進支援事業



万博期間中、ひょうご楽市楽座で魅力を発信

県政改革調査特別委員会が提言 負の遺産 整理に道筋 未来志向で解決

行財政全般にわたる改革を調査する県政改革調査特別委員会が報告書をまとめ、これを踏まえた県政改革方針案が第370回定例県議会で可決しました。委員12人で構成し、昨年3月22日の設置以来、13回（現地調査含む）にわたり、企業庁の地域整備事業、ひょうご農林機構の分収造林事業、県庁再整備など県民生活に大きな影響が及ぶ6項目について、将来世代に負担を先送りせず、未来志向で解決に取り組むため調査・検討を行ってきました。県政改革調査特別委員会での報告書等を踏まえた変更は次の通りです。

【地域整備事業】地域整備事業の展開に区切りをつけ、企業債償還が完了し、分譲事業が概ね進捗する令和20年度を目途に会計の収束を目指す ○播磨科学公園都市は、県、地元市町、有識者等による協議会において、新たな都市のあり方について検討

【分収造林事業】現行の事業スキームによる分収造林事業は事実上破綻しており、事業からの撤退後も引き続き分収林を適正管理するため、分収林契約から早期に新たな森林管理スキームに移行

【県庁舎再整備】防災機能や働き方改革を志向した機能的でコンパクトな新庁舎整備に着手。元町地域全体の賑わいづくり検討



百条委員会が報告書 文書問題調査結果を議会本会議で了承

昨年6月の第367回定例県議会で設置された文書問題調査特別委員会（百条委員会）は3月4日の委員会で報告書をまとめ、浜田知事議長に提出しました。翌5日の第370回定例県議会の本会議において、賛成多数で了承しました。元県民局長による告発文書の真相究明のため計18回の委員会を開き、知事や県職員ら延べ34人を聴取するなどして調査してきました。5日の本会議で委員長報告に立った奥谷議員は、「雄県の名にふさわしい進取の気質に富んだ兵庫県政を取り戻すことを切に願う」と訴えました。



調査報告のポイント

調査項目	調査結果の趣旨
知事が贈答品を受け取っていること	一部で事実誤認や憶測も含まれてはいるが、一定の事実が記載されており、虚偽の内容とまでは言えない。県民や職員に疑念を抱かせないためにも贈答品に関するルールづくりが必要
阪神・オリックス優勝パレードにかかる信用金庫等からのキックバック	一部で事実誤認や憶測も含まれてはいるが、一定の事実が記載されており、虚偽の内容とまでは言えない。本件は、背任容疑の告発状が県警に受理されており、捜査当局の対応を待ちたい
知事のパワーハラスメント	齋藤知事の言動、行動については、パワハラ行為と言っても過言ではないものだった

公益通報者保護についての提言

公益通報に該当しないから問題ないと主張して通報したことを非違行為として認定し懲戒処分に至ったことは大変遺憾。外部公益通報に対応できる体制づくりを進める必要がある。